

証券コード：6850

第75期

# 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

株式会社 **エー**

## 株主のみなさまへ



代表取締役社長

荻谷嵩夫

### ご挨拶

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第75期上半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の当社グループの事業概況についてご報告申し上げます。

### ●当上半期の概況

当上半期のわが国経済は、緩やかな回復基調を辿り、企業収益も総じて改善傾向をみせておりますが、設備投資は抑制傾向が続き、回復のペースは緩慢であります。

このような経営環境のもとで当社は、営業本部、生産本部、管理本部の3本部制に組織体制を改め、全体最適の観点から諸施策を推進してまいりました。

販売面では営業本部が営業戦略部を核として営業改革を進めており、6月には『川崎営業所』を横浜に移転、『横浜営業所』として子会社の『アーズ株式会社』に隣接して設置し、京浜地区の業容拡大の足掛かりとしました。

生産面では生産体制の再編に取り組み、カロリー計装部門を藤岡事業所へ移転させました。年内には全ての計装システムを藤岡事業所に集結させ、内製化を進めて採算性、効率性を高めます。また、グループとして全体最適となる一貫した体制にするべく子会社事業拠点の久喜サイトへの移転を推進し、上期は『株式会社チノーサービス』の久喜サイト移転を完了いたしました。

海外では、中国・韓国・台湾・インド等勢いがある東アジアを中心に、顧客に密着した販促活動を強化し、現地拠点との人材交流を活発にするとともに、成長市場のインドにおいては生産体制を整え記録計の現地生産を開始いたしました。

当上半期の連結業績につきましては、受注高は8,536百万円（前年同期比32.5%の増）、売上高は7,215百万円（前年同期比24.9%の増）となりました。

国内向けの売上高は6,072百万円（前年同期比30.0%の増）海外売上高は1,142百万円（前年同期比3.4%の増）であります。

利益につきましては、営業利益153百万円、経常利益104百万円となりましたが、四半期純利益は特別損失に投資有価証券評価損105百万円を計上した結果66百万円の損失となりました。

なお、このような状況から、中間配当につきましては実施を見送らせていただきたいと思います。

### ●通期の見通し

今後の見通しにつきましては、政府の消費刺激策の打ち切りや円高の進行等で景気の先行きは楽観できませんが、当社グループ各社のミッションを明確にし、全体最適の開発、生産、販売体制を構築して『復活・再生』を果たし、更なる発展に結び付けてまいります。

商品開発はグループ会社を含め新市場・新需要に対応した商品化のスピードを速めます。

生産体制の再構築は引き続き久喜サイトへグループ会社『株式会社浅川レンズ製作所』の移転、『三基計装株式会社』の一部集結等を進めるとともに、久喜事業所では温度センサの新しい生産技術と生産方式を確立し量産ラインを構築いたします。

販売面では、新エネルギー等の時流に乗る需要を的確に捉え、当社のコア技術とソリューション技術を結集してループ、システム受注の獲得に注力いたします。

これら積極的な施策推進により業績確保に全力を傾注してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月吉日

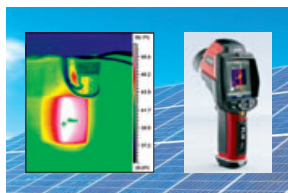
## トピックス

### ●環境・新エネルギー関連需要が伸長

地球環境保護の観点から普及が急がれるCO<sub>2</sub>削減や自然エネルギー利用技術は、世界レベルでの熾烈な主導権争いが始まっています。今季は普及期に入った太陽電池や産業構造に変革をもたらすリチウム電池の製造工程向けの制御機器や赤外線放射温度計が国内に止まらず東アジアでも堅調に推移しました。また家庭への導入が始まった燃料電池「エネファーム」や脱フロン対策の新冷媒利用のエアコン、そして自然冷媒としてCO<sub>2</sub>を使った「エコキュート」等の性能試験装置や耐久装置の市場が活況で、実証試験段階にある固体電解質燃料電池（SOFC）では試験装置需要も増加しております。



一体型SOFC試験装置



太陽光パネルのホットスポット  
(写真：産業技術研究所太陽光発電研究センターより)

### ●無線技術への取組み

当社は無線技術にも注目し、電気通信大学殿と共同で無線技術の応用開発に取り組んでおります。

今年2月には無線技術のベンチャー企業のアーズ株式会社を傘下に収めました。今後、需要の拡大が見込めるワイヤレスネットワークの基幹となる小型無線モジュールを基板実装技術を持つ山形テクノと連携して開発を進めており、早期の商品化をはかって、新たな分野での更なる進化を目指しています。



小型無線モジュール



無線温湿度ロガー

### ●改ざん防止機能付きグラフィックレコーダ発売

医薬品の製造工程や試験研究では従来から各データの保存用に記録計が使用されてきましたが、「米国食品医薬品局の電子記録と電子署名に関する規則」(FDA 21CFR Part11)の施行や「厚生労働省の電磁的記録・電子署名に関する規則」が発効され、これに対応した電子記録計のニーズが高まってきています。また原子力や航空機関連の部品熱処理分野や食品製造分野においても高信頼性のデータ記録と保存が必要で、これらのニーズを満足した多彩な機能と簡単操作の計測データプロテクト機能付グラフィックレコーダを発売しました。

主な機能として下記の機能が装備されています。

- ①ファイルの改ざん防止
- ②操作履歴の保存
- ③ログイン機能
- ④電子署名設定



計測データプロテクト機能付グラフィックレコーダKR2000/3000シリーズ

#### ログイン画面

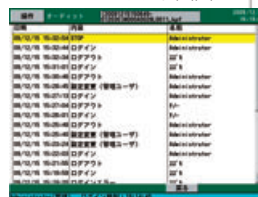


許可された人しかアクセスできません

#### ファイル情報画面



#### オーデイト画面



全ての履歴情報が記録され、改ざんできません

## 決算の概要

### ◆連結貸借対照表（要旨）

（百万円未満切捨）

科目	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	12,639	13,528	△888
固定資産	6,452	6,259	193
有形固定資産	3,437	3,430	6
無形固定資産	479	502	△23
投資その他の資産	2,535	2,325	209
<b>資産合計</b>	<b>19,091</b>	<b>19,787</b>	<b>△695</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	3,933	4,235	△302
固定負債	2,052	2,073	△20
<b>負債合計</b>	<b>5,985</b>	<b>6,309</b>	<b>△323</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	12,786	13,028	△242
資本金	4,292	4,292	-
資本剰余金	4,072	4,072	-
利益剰余金	5,875	6,116	△241
自己株式	△1,453	△1,452	△1
評価・換算差額等	△309	△183	△125
少数株主持分	627	632	△4
<b>純資産合計</b>	<b>13,105</b>	<b>13,478</b>	<b>△372</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,091</b>	<b>19,787</b>	<b>△695</b>

#### 【貸借対照表】

##### ◎流動資産

888百万円減少しました。主なものは売上債権の減少1,125百万円、有価証券の増加525百万円であります。

##### ◎固定資産

193百万円増加しました。主なものは投資有価証券の増加198百万円であります。

##### ◎流動負債

302百万円減少しました。主なものは、仕入債務の減少402百万円であります。

### ◆連結損益計算書（要旨）

（百万円未満切捨）

科目	当第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前年同期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	増減
売上高	7,215	5,775	1,439
売上原価	4,899	4,347	552
<b>売上総利益</b>	<b>2,315</b>	<b>1,428</b>	<b>886</b>
販売費及び一般管理費	2,162	2,085	76
<b>営業利益</b>	<b>153</b>	<b>△656</b>	<b>810</b>
営業外損益	△48	△79	30
<b>経常利益</b>	<b>104</b>	<b>△735</b>	<b>840</b>
特別損益	△111	△104	△6
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>△6</b>	<b>△840</b>	<b>834</b>
法人税等	48	△266	314
少数株主損益	11	5	6
<b>四半期純利益</b>	<b>△66</b>	<b>△579</b>	<b>512</b>

### ◆連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（百万円未満切捨）

科目	当第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前年同期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	730	736	△5
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,115	98	△1,214
財務活動による キャッシュ・フロー	△187	△230	42
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△66	10	△77
現金及び現金同等物 の増減額（△は減少）	△639	616	△1,255
現金及び現金同等物 の期首残高	4,010	3,056	953
現金及び現金同等物 の四半期末残高	3,371	3,673	△301

#### 【損益計算書】

◎売上高の増加により営業利益、経常利益は黒字に転換しましたが、純利益は投資有価証券評価損105百万円の計上によりマイナスとなりました。

#### 【キャッシュ・フロー計算書】

##### ◎営業活動によるキャッシュ・フロー

主な増加要因：手形債権の流動化により売上債権が1,071百万円減少しました。

##### ◎投資活動によるキャッシュ・フロー

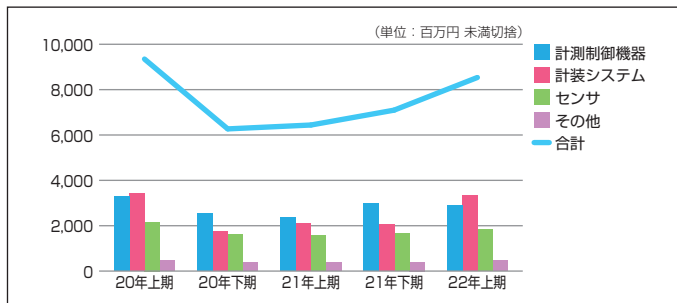
主な減少要因：有価証券・投資有価証券の取得1,109百万円であります。

##### ◎財務活動によるキャッシュ・フロー

主な減少要因：配当金の支払175百万円であります。

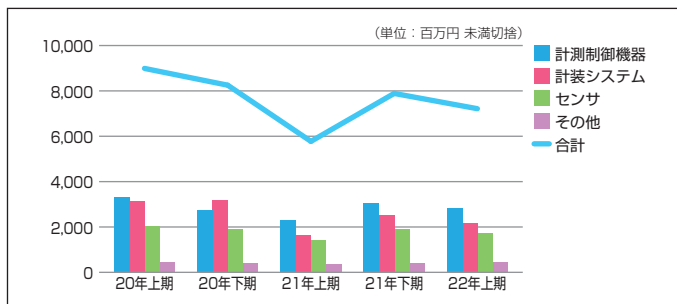
# 業績グラフ

## 連結受注実績（セグメント別）

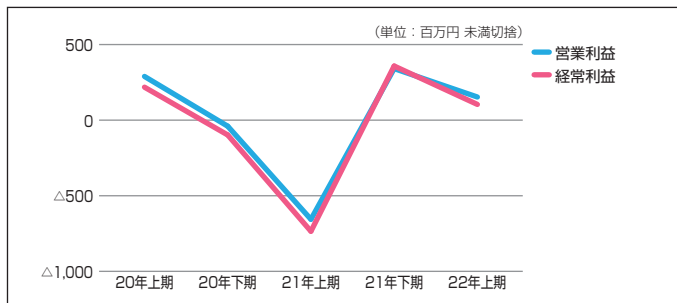


22年上期、受注高は計装システムが伸長し、緩やかな回復傾向を辿りました。受注残高が増加傾向にあります。

## 連結売上実績（セグメント別）



## 連結営業利益、経常利益推移



21年上期を底に回復傾向にあります。年度末に納期が集中するため、下期の利益が増加する傾向にあります。

# 株式情報

(平成22年9月30日現在)

## ◆株式の状況

発行可能株式総数	119,100,000株
発行済株式の総数	47,800,580株
株主数	7,266名

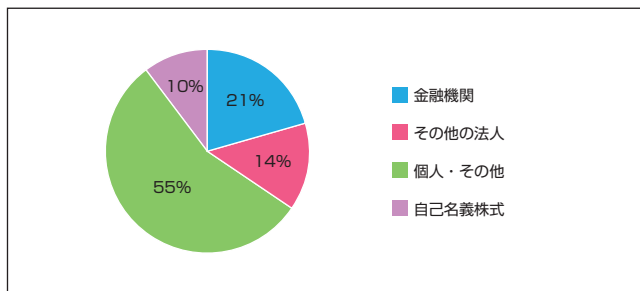
## ◆大株主

株主名	所有株数	出資比率
チノー取引先持株会	3,859 千株	8.07 %
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,117	4.43
チノー従業員持株会	1,469	3.07
株式会社りそな銀行	1,300	2.71
日本生命保険相互会社	1,217	2.54
株式会社北浜製作所	911	1.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	846	1.76
株式会社ニッカトー	837	1.75
竹田和平	700	1.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	671	1.40

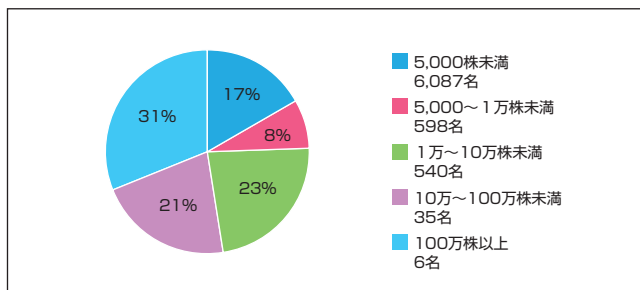
出資比率は発行済株式総数に対する所有株式の割合  
(ご参考)

株式会社チノー(自己保有株式)	4,848千株
-----------------	---------

## ◆所有者別分布状況(所有株式比率)



## ◆所有株数別分布状況(所有株式比率)



## 会社概要

(平成22年9月30日現在)

- ◆ 商 号 株式会社 チノー
- ◆ 英文商号 CHINO CORPORATION
- ◆ 創 立 大正2年
- ◆ 設 立 昭和11年8月1日
- ◆ 資 本 金 42億9千2百万円
- ◆ 従業員数 (連結) 925名  
(単独) 555名
- ◆ 本 社 〒173-8632 東京都板橋区熊野町32-8
- ◆ 事業内容

チノーグループは『特長・信頼・連帯』を軸に計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、産業の発展とよりよい明日の社会の実現に貢献する。この理念の下に「計測・制御機器及び計装システム」の専門メーカーとして幅広い産業分野で活用いただける製品を供給しております。

## 役 員

(平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	刈 谷	嵩 夫
専務取締役	岸	智 晴
専務取締役	斉 藤	卿 是
常務取締役	小 針	哲 郎
取 締 役	原 田	進
取 締 役	松 本	正
取 締 役	内 藤	正 行
取 締 役	吉 田	幸 一
取 締 役	土 井	裕 幸
取 締 役	森 山	文 隆
取 締 役	清 水	孝 雄
常勤監査役	古 谷	陽 一
社外監査役	大 澤	眞 輔
社外監査役	後 藤	明 夫

## 主要な事業所

名 称	所在地
本社・計測技術開発センター	東京都 板橋区
東京支店	東京都 板橋区
北部支店	埼玉県 さいたま市
大阪支店	大阪府 吹田市
名古屋支店	名古屋市 中村区
藤岡事業所	群馬県 藤岡市
久喜事業所	埼玉県 久喜市

## 子会社

名 称	所在地
株式会社山形チノー	山形県 天童市
株式会社チノーサービス	埼玉県 久喜市
株式会社チノーソフテックス	群馬県 藤岡市
三基計装株式会社	埼玉県 戸田市
東京精工株式会社	神奈川県 茅ヶ崎市
株式会社浅川レンズ製作所	埼玉県 桶川市
アーズ株式会社	神奈川県 横浜市
CHINO Works America Inc.	アメリカ合衆国 ロサンゼルス市
上海大華-千野儀表面有限公司	中華人民共和国 上海市
千野測控設備（昆山）有限公司	中華人民共和国 昆山市
韓国チノー株式会社	大韓民国 京畿道華城市
CHINO Corporation India Private Ltd.	インド ナビムンバイ市

## チノーホームページのご案内



チノーホームページでは決算短信をはじめ最新ニュース、企業情報、製品案内、採用情報を掲載しています。ぜひアクセスしてみてください。

<http://www.chino.co.jp>



# 株主メモ

- ◆決算期日 3月31日
- ◆定時株主総会 6月下旬
- ◆配当金受領株主確定日 3月31日、9月30日
- ◆基準日 3月31日 そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告します。
- ◆公告掲載新聞 日本経済新聞
- ◆上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部
- ◆株主名簿管理人  
及び特別口座の  
口座管理機関  
(連絡先) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

## (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# 株式会社チノ

〒173-8632 東京都板橋区熊野町32-8

TEL:03-3956-2111

ホームページアドレス <http://www.chino.co.jp>

